

故 本部廣哲氏追悼式

本町の名誉町民で、平成22年10月5日にご逝去された、元学校法人南京都学園理事長本部廣哲氏（新城字出身）の追悼式・偲ぶ会が6月23日に齋場永遠の星で行われ、本部氏のご遺族・ご親族をはじめ、新城・上城・下城の各字から氏とゆかりのある方など多くの町民が出席されました。

式では、宗岡与名彦副町長による本部氏の功績紹介、平安正盛町長の追悼の辞（以下に一部抜粋したものを掲載）、東善一郎議長のあいさつ、献花があり、おわりに遺族を代表して氏のご長男で学校法人南京都学園理事長の本部広樹氏が「本日は素晴らしい追悼式を賜りありがとうございます



故 本部廣哲氏



ご遺族の本部広樹氏

いました。本日こちらで納骨の儀を執り行いました。父は11年前の6月24日に脳内出血で倒れ、手術ができないほど危険な状態でしたが、（数か月後には）杖で歩けるほど回復しました。父は「元気で田舎に帰る」が口癖で、沖永良部を愛しており、平成8年に受章した名誉町民の称号に対しては、これ以上のものはないと非常に喜んでいました。」とあいさつを述べました。

本部氏は、昭和5年に新城字で出生され、昭和32年に京都大学理学部を卒業。「人間の能力は生まれつきのものではなく、その人の努力によって開発され、無限に伸ばされる。」の教育理念をもとに、学校法人南京都学園を創設され教育の振興と人材育成にご尽力されました。

本部氏が創立した南京都学園高等学校は、来年創立30周年を迎えるにあたり、校名が「京都廣学館（きょうとうがっかん）高等学校」に変更になります。



平安正盛町長追悼の辞（一部抜粋）



本町名誉町民、本部廣哲様が平成22年10月にご逝去され、本日ご先祖が眠る地に納骨の儀が執り行われたのを機に、ここにご遺族の皆様方のご参列を賜り、町主催で追悼式を開催する運びとなりました。本部先生のご逝去を悼む多くの方々のご参加をいただき、厳かに開催されますことを衷心より感謝申し上げます。

本部先生の枚挙にいとまがない数々のご功績に対し、平成8年の町制施行50周年記念式典において議会の同意を得て、名誉町民として顕彰いたし、その功績を後世に伝えることといたしました。

本部先生が創設された南京都学園は、「人間の能力は生まれつきのものではなく、その人の努力によって開発され、無限に伸ばされる。」という教育理念に基づき、当時の社会的な背景もあり、ユニークな学校経営と生徒の教育が脚光を浴びており、本町からも教育委員会をはじめ町内の各界

の方々たびたび学校を視察され、本部先生には大変お世話になりました。南京都学園には、多くの沖永良部出身の教職員を登用していただき、人材の育成に大きく寄与されました。

また、本部先生は数多くの著書の本町に贈呈されるとともに、先生のライフワークともいえる大山に関する著書として、町制施行50周年記念に「大山町有林物語」を出版し、町内全世帯に配布しました。大山町有林が果たした役割を今の世代に伝え、大山のありがたさを広く再認識することとなりました。

改めて先生のご遺影を拝しておりますと、思い出が限りなく私どもの胸に去来いたしますが、今はただ、長年にわたる先生の数多くのご功績に心から敬意と感謝を申し上げますと同時に、先生から賜りました数々の教えを大切に、先生のご遺徳を引き継いで、故郷知名町の人材育成と更なる発展に役立てていくことをお誓い申し上げます。